

船舶事故等調査報告書

平成23年2月24日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010広第177号	
事故等名	転覆	
発生日時	平成22年10月13日 11時55分ごろ	
発生場所	島根県太田市久手町沖 羽根東港南防波堤灯台から真方位243°600m付近 (概位 北緯35°14.5′ 東経132°31.2′)	
事故等調査の経過	平成22年10月19日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 漁船 共榮丸、0.95トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 SN3-10788（漁船登録番号）、個人所有</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定</p> <p>死傷者等 負傷2人（船長、甲板員）肺炎</p> <p>損傷 船外機及び魚群探知機が濡損</p>	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか2人が乗組み、対地速力約7.5ノットで手動操舵により針路を南にとって太田市柳瀬漁港へ帰航中、平成22年10月13日11時55分ごろ、後方からの高波を受けて転覆した。</p> <p>乗組員は、海上に投げ出され、船体につかまっているところを近くにいた僚船に救助されたが、船長と甲板員1人が病院に搬送された。</p> <p>本船は、柳瀬漁港にえい航された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北北西、風力 1、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 低潮期、波高 約1.5m</p>	
その他の事項	<p>本船の乗組員全員は、救命胴衣を着用していなかった。</p> <p>柳瀬漁港沖は、遠浅になっており、高波の発生しやすい場所であった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、羽根東港南防波堤灯台西南西方沖を南進中、船長が柳瀬漁港沖に高波が立っているのを認め、数波をやり過ぎて様子を見たのち、次の高波が来る前に入航しようと前進を始めたところ、後方から高波を受け、転覆したのと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、羽根東港南防波堤灯台西南西方沖を南進中、後方から高波を受けたため、転覆したことにより発生したのと考えられる。</p>	